

児童発達支援の自己評価表保護者様（2025年3月時点）回収率76.2%

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	1	0	法令に準じた確保をしています。
	職員の配置数や専門性は適切であるか	10	6	1	スタッフの入れ替わりにより、いろいろとご負担をおかけしているところもあると思います。スタッフの配置はもちろん今後も引き続き研修等を進めてスキルアップを図っていきます。
	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11	5	0	ワンフロアでの設備ではないので、完全なバリアフリーは難しい。しかし階段に手すりなどの措置は行っております。継続して安全にはできるだけの配慮を行なっていきます。
	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	16	0	0	定期的なお掃除に加えて、空気清浄機を完備しております。なお、シンプルかつ機会利用できるような教室作りをしています。 今後はさらに備品や環境の整備、清潔に対する見直しを図ってまいります。 現在感染症対策の為、常に換気をしている兼ね合いで、施設内が心地よい環境とは言えない日がございます。冬は寒さ対策で防寒の提案を今後対応として進めてまいります。
適切な支援の提供	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	14	2	0	保護者様のお話をお聞きした上で、一人一人のお子様に合わせてプログラムを作成しております。継続して質も向上に努めます。
	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「個別支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	14	2	0	個別支援計画には、親御様の意向とお子様の現状を把握した上で、お子様に最も必要な支援を軸に作成をさせていただいております。そのほかに個別のプログラムを作成した上で、お子様の成長にあったサポートを行っております。今後も引き続きお子様と親御様の気持ちに寄り添い、お子様にあったサポート方法の提案や実践を進めていけるように連携をとりながら進めていきます。
	個別支援計画に沿った支援が行われているか	15	1	0	
	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	13	3	0	
保護者への説明等	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	1	0	初回カウンセリング時にご説明をさせていただいております。適宜どのスタッフでも質問に対して応答できるよう整えてまいります。
	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	15	1	0	個別支援計画を主としたプログラムもその都度プログラムを導入する際にはご説明をさせていただくよう心がけております。継続して適切な対応を心がけます。スタッフによって対応に差がなるべく出ないように、研修等を増やし対策を進めてまいります。
	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	11	4	1	引き続きセラピー後のフィードバックの時間に必要に応じて行なってまいります。研修によりスタッフの質と対応の向上を図ってまいります。
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13	3	0	スタッフによって対応に差がある部分につきましては、研修により必要なレベルを満たせるよう職員の研修等を増やし対策を進めてまいります。

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見を踏まえた対応
	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	3	0	今後も継続してスキルアップ等対応を進めてまいります。
	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	14	2	0	引き続きよりよい対応ができるようにスキルアップを図っていきます。
	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	1	0	年齢によって別室対応をとったり、お子様に応じて対応を変えております。またお申し出に応じてお電話やメールでのフィードバックにも対応させていただいております。なおスタッフによって差が出ないように必要なレベルを満たせるように、研修等を増やし、対策をしていきます。
	個人情報の取扱いに十分注意されているか	15	1	0	個人情報は外部に漏れることのないように、注意して取り扱ってまいります。
非常時等の対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	10	4	2	現在保護者様へは、重要事項説明書に記載し、契約時にご説明をさせていただいております。1時間毎の個別療育であり、訓練日時に該当しない児童が多いため多くの児童が経験できるように訓練の頻度を増やすようにします。
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	7	3	お子様も参加される防災訓練や教育も行っておりますが、1時間毎の個別療育であり、訓練日時に該当しない児童が多いため多くの児童が経験できるように訓練の頻度を増やすようにします。
満足度	子どもは通所を楽しみにしているか	15	1	0	今後もよりよいご提案や実践ができるように研修等を進めてまいります。 いつも本当にありがとうございます。
	事業所の支援に満足しているか	15	1	0	

児童発達支援の自己評価表事業所（2025年3月時点）

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		法令に準じた確保をしております。
	職員の配置数は適切であるか	○		マンツーマン療育かつ、児童の特性に合わせて相性が良いスタッフを配置しています。
	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○	多機能事業所ということもあり、階によって使い分けをしているため、お子様にはわかりにくいかと思います。又4階建てということもあり、階段の上り下りが必要ではありますが、手すりをつけるなどの設備は行っております。
	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		毎日のお掃除に加えて、空気清浄機を完備しております。なお、シンプルかつ機会利用できるような教室作りをしております。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
業務改善	業務改善を進めるための PDCA サイクル 4 (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		保護者を含めたフィードバックの内容を共有し、次回療育に対する改善を毎回実施しています。す。
	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		お子様および親御様にも、安心して楽しくご利用いただけるように、意見をお聞きする場を設け、改善に務めています。
	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職種間を問わず、直接対話およびオンライン面談によるプライバシー配慮など、個人の意見を言いやすい環境ならびに必要なことは即改善しています。
	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげているか		○	法人内の別事業所を含めてお互いの評価をしていますが、第三者は導入していません。
	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		施設外研修は積極的に参加して共有したり、施設内では個別の研修や動画共有などを実施しております。
適切な支援の提供	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		当社ホームページにて公開しております。
	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		ICFでの分析、ABAでの療育をもとに、できるだけ専門用語を使用せず、誰が見てもわかりやすい計画書を作成しています。
	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		保護者モニタリングの内容を共有しており、児童と保護者のニーズを常に把握しています。
	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画書は職員間で共有されており、毎回実施するプログラムに反映しています。
	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		ICFを基本としたアセスメントにて、「できる・できない」よりも「している・していない」に着目して状況確認しています。
	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		発達支援の5領域すべてに支援内容を設定し、その他の支援も含めて優先順位をつけて設定しています。
	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		メインの担当者だけでなく他スタッフの意見も取り入れてプログラムを作成しています。
	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いるか	○		利用毎にプログラムを作成しており、前回の内容を踏まえて常に改善しています。
	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画を作成しているか	○		個別療育が前提ですが、保護者からの要望があれば他児童との合同療育も取り入れています。
	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日の朝礼からスタートし、その日の状況を共有しています。
	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた 点等を共有しているか	○		口頭だけでなく記録として残し、次回担当スタッフが誰になっても同じ目的の療育ができるようにしています。

	チェック項目	はい	いいえ	改善目標 工夫している点
	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎回の療育内容を記録として残し、過去の内容も含めてわかりやすくしています。
	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		最長でも6ヶ月毎のモニタリングを実施し、すべて直接面談にて30分以上かけて聞き取りしています。
関係機関や保護者との連携	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		管理者だけでなく、メインとして担当しているスタッフが対応しています。
	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて連携を行なっております。
	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者からの求めに応じて必要な文書を用意し、情報共有をしております。
	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者からの求めに応じて必要な文書を用意し、情報共有をしております。
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センター主催の研修には積極的に参加し、必要な時には連絡をとって助言を受けております。
	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	専門性の高い個別療育のため、他者との交流は実施していません。
	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		利用時間の終了前に保護者を含めたフィードバックにて毎回情報を共有しています。
	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ご要望があった際には、療育と一緒に参加していただいたり、別室にて個別面談やオンライン面談なども実施しています。
	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用契約の機会にしっかり説明し、年度毎に基準が変更となった場合にはその都度説明して同意をいただいています。
保護者への説明責任等	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		支援計画書に同意をいただく際に、支援の優先順位もご確認いただいた上で同意をいただいています。
	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		提示した計画書に修正等があれば即変更し、納得いただいた上で同意をいただいています。
	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		ご要望があった際には、療育と一緒に参加していただいたり、別室にて個別面談やオンライン面談なども実施しております。
	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	共同での療育ではなく、全てマンツーマンによる療育であり、保護者同士の交流の場は主催していません。
	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		その都度保護者様からのお話には耳を傾け、真摯に受け止め今後の運営における参考にさせていただいております。
	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		専用のアプリにて情報共有をさせていただいております。
	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報は外部に漏れることのないように、注意して取り扱っております。
	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		コミュニケーションボタンなどのツールや、専用の意思表示教材などを使用して、情報伝達ができるようにしています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	専門性の高い完全個別療育であり、個人情報の兼ね合いもあり地域との交流はありません。
非常時等の対応	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		突発的な出来事にも対応できるような療育内容として計画書にも記載し、児童には事前告知無しで訓練を実施します。
	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		地域に合わせたBCPを策定し、非常災害に対する対策をしています。
	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時のアセスメントや定期的なモニタリングだけでなく、毎利用時のフィードバックにて確認しています。
	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		初回アセスメント時に書面にて記載をしていますが、特別お医者様の指示書はいただいております。なお、現在重篤な食物アレルギーをお持ちのお子様はご利用されていません。今後お医者様の指示書については、必要に応じて保護者様にご提出をお願いして対応しております。
	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		児童によっては部屋内の器具を撤去したり、危険予知を考慮した上で療育を実施しています。
	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時のアセスメントや定期的なモニタリングだけでなく、枚利用時のフィードバックにて情報共有しています。
	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		突発的に発生した出来事については、全ての出来事を記録に残して共有しています。
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		カンファレンスや指定動画の視聴など実施しています。
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		カンファレンスや指定動画の視聴など実施していますが、過去事例ありません。ご利用前に身体拘束に関する詳細については説明をさせていただいております。